

みずほCustomer Desk Report 2017/05/01 号(As of 2017/04/28)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.29 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.21	1.0867	120.85	0.9944	1.2896	0.7469
SYD-NY High	111.72	1.0947	122.00	0.9958	1.2965	0.7492
SYD-NY Low	111.07	1.0857	120.70	0.9895	1.2890	0.7448
NY 5:00 PM	111.55	1.0895	121.52	0.9950	1.2949	0.7489
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.18/8.61		△25RR	0.895	Yen Call Over	
NY DOW	20,940.51	▲40.82	債券市場	日本2年債	-0.2090	▲2.3bp
NASDAQ	6,047.61	▲1.33		日本10年債	0.0180	▲0.5bp
S&P	2,384.20	▲4.57		米国2年債	1.2619	0.4bp
日経平均	19,196.74	▲55.13		米国5年債	1.8142	▲0.8bp
TOPIX	1,531.80	▲4.87		米国10年債	2.2802	▲1.4bp
シカゴ日経先物	19,235	▲20.00		独10年債	0.3170	2.1bp
ロンドンFT	7,203.94	▲33.23	為替市況	英10年債	1.0850	2.1bp
DAX	12,438.01	▲5.78		豪10年債	2.5750	▲3.8bp
ハンセン指数	24,615.13	▲83.35		USD/CNH	6.8988	▲0.0028
上海総合	3,154.66	2.47	商品市況	ドルインデックス	99.05	▲0.03
USDJPY 3M Vol	9.05	▲0.17%		CRB指数	181.725	1.23
USDJPY 6M Vol	9.32	▲0.03%		NY金	1,268.30	2.40
EURJPY 3M Vol	9.77	0.07%		WTI	49.33	0.36
EURJPY 6M Vol	9.77	0.04%		Dubai Spot	50.19	0.32

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月28日	08:30	日 失業率/有効求人倍率	3月 2.8%/1.45	2.9%/1.43
	08:30	日 CPI/コア/コアコア(前年比)	3月 0.2%/0.2%/ー0.1%	0.3%/0.2%/0.0%
	17:30	美 GDP・速報値(前期比/前年比)	1Q 0.3%/2.1%	0.4%/2.2%
	18:00	欧 CPI予想/CPIコア(前年比)	4月 1.9%/1.2%	1.8%/1.0%
	21:30	米 GDP・速報値(年率/前期比)	1Q 0.7%	1.0%
	21:30	米 個人消費・速報値(前期比/前年比)	1Q 0.3%	0.9%
	21:30	米 コアPCE	1Q 2.0%	2.0%
	23:00	米 ミシガン大学消費者信頼感指数確報値	4月 97.0	98.0
4月29日	03:30	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演	-	-

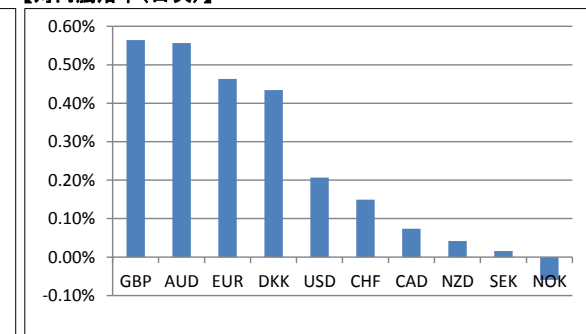
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月1日	20:45	米 ムニューシン米財務長官講演	-	-
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	3月 -0.1%/1.6%	0.2%/1.8%
	22:45	米 マークイット製造業PMI・確報値	4月 52.8	52.8
	23:00	米 ISM製造業景況指数	4月 56.5	57.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.70-111.70	1.0850-1.0950	120.50-121.90

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日海外時間のドル/円相場は底堅い展開となった。米1〜3月期GDP・速報値(年率/前期比)は+0.7%と市場予想(同: +1.2%)を下回るも、雇用コスト指数やコアPCEが良好な結果となったこと等を受けてドル買いが強まり一時111.72まで上昇。しかし、直近高値(111.78)を上抜けることはできず、その後は111円台半ばを中心としたもみ合い推移となった。本日のドル/円相場は方向感に欠ける推移を予想する。本日は米4月ISM製造業景況指数の発表等が予定されているが、英国をはじめとする主要国の多くが休場であることや、3日にFOMCを控えていることなどから積極的な取引は控えられやすいと考えられる。先週半ば以降同様、111円台前半でのレンジ推移が継続すると予想する。

東京	東京時間のドル円は111.21レベルでオープン。月末特有の本邦勢による実需フローが散見される中でドル円は一時高値となる111.36まで上昇。しかしその後は、実需勢による円買いや投機筋による利益確定のドル売りも見られる中で一時111.07まで下落。午後にかけては、軟調推移する日経平均を背景にドル円も方向感なく横這い推移となり、結局111.21レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111.21レベルでオープン。この日は、中国政府から朝鮮半島の緊張解消に向け米国と連携していく姿勢が示されたことでリスク回避ムードがやや薄まり、111円台半ばまで堅調に推移。111.38レベルでNYに渡った。ポンドは1.2902レベルでオープン。ロンドン午前8時フィクシング後、ポンドが買われる展開に1.2944まで上昇するも、英第1四半期GDP速報値が前期比+0.3%となり予想(+0.4%)を下回ったことで1.2915まで反落。しかし、スコットランド世論調査でスコットランド民族党の支持率低下が示され、スコットランド独立リスクが遠のいたこと等を背景にポンドは買い戻され、1.2943レベルでNYに渡った。ユーロは1.0870レベルでオープン。ユーロ圏4月CPIが前年比+1.9%(予想+1.8%)に上昇し、変動の激しい食品とエネルギーを除くコアCPIが前年比+1.2%(予想+1.0%)と、2013年9月以来の高水準となると、テーハリング観測が強まりユーロ買い優勢の展開から1.0947まで上伸。1.0935レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	海外時間のドル円は111円台前半を底堅く推移し、111.38レベルでNYオープン。朝方発表されたコアPCEが予想通りながらも前回値から大幅に上昇したこと等を背景に米金利が急上昇する展開にドル買いが強まり、ドル円は高値となる111.72まで急伸。しかし、第一四半期GDPが個人消費の減速や在庫投資のマイナス寄与の影響により、前期から大幅に減速する内容となると、米金利は切り返しドル円も反落。その後、「米上院、1週間の短期の暫定予算法案を可決」との報道が伝わるも、市場の反応は限定的。週明け月曜は欧州勢をはじめ多くの市場が休場となることもあり、午後は薄商いの中で米長期金利低下や米株じり安の展開に、ドル円も111.40付近で膠着状態となり、結局111.55レベルでクローズした。一方ユーロは、ロンドン時間に発表されたユーロ圏4月コアCPIが予想を大きく上回ったことから1.0947まで上昇し、1.0935レベルでNYオープン。良好な米インフラ指標を好感したドル買いやロングウィークエンド前のポジション調整の動きにユーロはじり安の展開となり1.0884まで下落し、結局1.0895レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 森谷・鶴田